



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社バトンズ 上場取引所 東
 コード番号 554A URL <http://batonz.jp/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 C E O (氏名) 神瀬 悠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 C F O (氏名) 木村 博史 TEL 03-6773-5004
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	494	-	2	-	2	-	0	-
2026年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	0.05	0.05
2026年3月期第1四半期	-	-

- (注) 1. 2026年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2026年3月期第1四半期の数値及び2027年3月期第1四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。
 2. 2027年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2026年4月21日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から2027年3月期第1四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,322	954	72.2
2026年3月期	1,187	706	59.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 954百万円 2026年3月期 706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2027年3月期	-	-	-	-	-
2027年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,447	22.1	387	6.6	389	6.0	269	2.8	57.59

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2027年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、2026年4月20日の新株式の発行及び2026年5月20日の第三者割当増資による新株式の発行の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	4,721,600株	2026年3月期	4,312,300株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	-株	2026年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	4,552,067株	2026年3月期1Q	-株

（注）当社は2026年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2026年3月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

M&A市場を取り巻く環境におきましては、公的窓口である事業承継・引継ぎ支援センターにおける新規相談者数が24,000者超、第三者承継の成約件数が2,265件といずれも過去最多を更新（令和7年度、独立行政法人中小企業基盤整備機構発表）していることに見られる通り、経営者の高齢化に伴う事業承継ニーズが引き続き底堅く推移しております。また、20代～40代の若い経営者が自ら創出した事業を大手企業や資本に譲渡するEXIT目的のM&Aも定着しつつあります。このようにM&Aが企業の成長および事業継続に向けた戦略的選択肢として浸透する中、当社のM&Aプラットフォームにおける利用者層は拡大・多様化しております。

このような環境下、当社は「誰でも、何処でも、簡単に、自由に、M&Aができる社会を実現する」というビジョンのもと、M&Aプラットフォーム「BATONZ」の運営を通じて、全国の事業承継課題の解決および成長戦略としてのM&Aの普及に注力してまいりました。特に当第1四半期累計期間におきましては、これまで注力してきた「安心安全な取引環境」を堅持しつつ、「AIを活用した新機能・サービスの拡充」および「案件規模の再拡大に向けた取り組み」を推進いたしました。

当第1四半期累計期間における具体的な取り組みと成果は以下の通りであります。

● AIを活用したサービス機能の拡充とM&A SaaSの価値向上

当社はプロダクトの利便性および生産性向上を目的に、AIを活用した新機能の開発・実装を積極的に進めてまいりました。具体的には、AIによる企業概要書作成支援機能（AI-IM）や、AIによる買い手候補リストの抽出機能（AI-ロングリスト）などの組み込みを実施いたしました。これにより、M&A SaaSとしての付加価値向上を図るとともに、当社のFA支援における業務生産性を大幅に向上させております。

なお、これらの機能強化およびプロダクト価値の向上を背景として、2026年4月よりM&A SaaSの各種料金プランの価格改定を実施し、収益基盤の強化を図っております。

● 案件規模の拡大と先行指標の順調な推移

M&Aプラットフォーム成約数の先行指標となる案件公開数におきましては、当第1四半期累計で2,644件（前年同期間2,320件比で+14.0%）となりました。過去のデータ傾向から案件公開数からM&Aプラットフォーム成約数への移行には一定のタイムラグを伴う相関関係が見られており、今後の成約数増加に向けた確実な兆候を捉えております。

当第1四半期累計期間の成約件数におきましては187件（前年同期間193件比で△6件）と一時的に微減となったものの、「BATONZ」の知名度/信用度の向上から比較的規模の大きい案件の成約が進展したこと等により、一案件あたりの成約単価は上昇いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高494,878千円、営業利益2,126千円、経常利益2,523千円、四半期純利益219千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産の部)

当第1四半期会計期間末の総資産は1,322,203千円となり、前事業年度末に比べ134,557千円増加いたしました。流動資産は860,459千円となり、前事業年度末に比べ112,762千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が69,110千円、売掛金が77,123千円減少したことによるものであります。固定資産は461,743千円となり、前事業年度末に比べ247,319千円増加いたしました。これは主に、2026年6月に行った本社オフィス移転に伴って建物が60,041千円、工具、器具及び備品が54,971千円、敷金及び保証金が125,998千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末の負債合計は367,330千円となり、前事業年度末に比べ114,188千円減少いたしました。流動負債は317,801千円となり、前事業年度末に比べ163,718千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が103,992千円、預り金が51,095千円減少したことによるものであります。固定負債は49,529千円となり、前事業年度末に比べ49,529千円増加いたしました。これは主に、2026年6月に行った本社オフィス移転に伴って資産除去債務が37,851千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は954,872千円となり、前事業年度末に比べ248,746千円増加いたし

ました。これは主に、上場時の増資により資本金が124,263千円、資本準備金が124,263千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日付「2026年3月期 決算短信[日本基準]（非連結）」にて発表の通期の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	790,563	721,453
売掛金	154,662	77,539
その他	34,056	68,906
貸倒引当金	△6,059	△7,438
流動資産合計	973,221	860,459
固定資産		
有形固定資産	15,831	116,160
無形固定資産		
ソフトウェア	135,316	129,796
ソフトウェア仮勘定	15,848	39,387
その他	4,037	4,360
無形固定資産合計	155,202	173,544
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,556	134,555
その他	34,833	37,484
投資その他の資産合計	43,390	172,039
固定資産合計	214,423	461,743
資産合計	1,187,645	1,322,203
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,423	10,921
未払金	72,729	82,477
未払費用	88,066	105,263
未払法人税等	107,351	3,358
契約負債	24,548	52,762
預り金	85,102	34,006
賞与引当金	36,056	9,394
その他	54,240	19,616
流動負債合計	481,519	317,801
固定負債		
資産除去債務	-	37,851
その他	-	11,678
固定負債合計	-	49,529
負債合計	481,519	367,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	224,263
資本剰余金	206,990	331,254
利益剰余金	399,134	399,354
株主資本合計	706,125	954,872
純資産合計	706,125	954,872
負債純資産合計	1,187,645	1,322,203

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

当第1四半期累計期間 (自2026年4月1日 至2026年6月30日)	
売上高	494,878
売上原価	84,884
売上総利益	409,993
販売費及び一般管理費	407,866
営業利益	2,126
営業外収益	
償却債権取立益	272
その他	123
営業外収益合計	396
経常利益	2,523
税引前四半期純利益	2,523
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	2,292
法人税等合計	2,303
四半期純利益	219

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社の事業セグメントは、M&Aテクノロジー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年4月21日の東京証券取引所グロース市場への上場に伴い、一般募集による新株式の発行（払込期日2026年4月20日）および第三者割当増資による新株式の発行（払込期日2026年5月20日）を行いました。

この結果、当第1四半期累計期間において資本金が124,263千円、資本準備金が124,263千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が224,263千円、資本剰余金が331,254千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	15,815千円